

エンテロウイルス D68 の検出について

奈良県で初めてエンテロウイルス D68 (EV-D68)を検出しましたのでお知らせいたします。

<患者情報>

患者 : 1歳8か月男児 入院なし 散発 診断名:肺炎 検体採取日:10月6日
症状 : 最高 38.7°C(2日間)、肺炎、喘息性気管支炎、SpO₂ 94%
咳、鼻汁、喘鳴強い、その他特徴的な所見なし

<概要>

日本においては、2005年以降、EV-D68が検出された症例は200例以上あり、多くは呼吸器症状を呈した症例で、急性弛緩性麻痺(AFP:Acute Flaccid Paralysis)を呈するものはほとんどありませんでした。

今年の8月以降、小児を中心にポリオ様麻痺に類似した原因不明のAFPの症例が相次いで報告されており、その一部にEV-D68が検出される例が含まれています。直近では、広島県の症例¹⁾、さいたま市の症例²⁾でEV-D68が検出されています。

また、昨年米国でもEV-D68感染に伴う小児の重症呼吸不全症例が1000例を超えて報告され、その一部に急性弛緩性麻痺が見られたとの報告がありました。

AFP症例についてはポリオとの鑑別と、EV-D68との関連性についての調査が重要とされています。

<国内情報>

2005年～2014年9月までにEV-D68が検出された患者265例で、診断名は呼吸器疾患(191例)で約72%を占めており、手足口病(12例)、感染性胃腸炎(6例)、ヘルパンギーナ(4例)、無菌性髄膜炎(2例)の割合はそれぞれ1～4%の間で推移していました。また、急性脳炎・脳症からの検出は4例でした。他に喘息(6例)、心肺停止[2例;2010年と2013年にそれぞれ1例で、胃腸炎症状(嘔吐・腹痛含む)の4歳児と発熱症状の0歳児]などもありました³⁾。

2015年のEV-D68の月別検出報告数は、8月14例、9月124例、10月25例です。

<検体採取にご協力ください>

2015年10月21日付け厚生労働省からの事務連絡により、当センターではAFPを認める症例の検査を実施しております。

医療機関におかれましては、日頃のご協力に感謝するとともに、引き続き検体の採取をよろしく願いいたします。

1) <http://www.nih.go.jp/niid/ja/entero/entero-iasrd/5219-kj4184.html>

2) <http://www.nih.go.jp/niid/ja/diseases/a/ev-d68/2335-idsc/iasr-news/6004-pr4286.html>

3) <http://www.nih.go.jp/niid/ja/id/2335-disease-based/a/ev-d68/idsc/iasr-news/5167-pr4181.html>

<参考> 感染研 HP 病原微生物検出情報

<http://www.nih.go.jp/niid/ja/iasr/510-surveillance/iasr/graphs/4563-iasrgtopics.html>

検査担当:ウイルス・疫学情報担当

〒 633-0062 桜井市栗殿 1000

TEL 0744-47-3182

FAX 0744-47-3161